

日時 2018年3月3日(土) 13:00~17:00  
(開場 / ポスターセッション開始 12:30)

場所 ピアザ淡海 ピアザホール  
滋賀県大津市におの浜 1-1-20

入場無料  
申込不要  
一般歓迎

内容

第0部

- ポスターセッション (1部)  
「里山にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」

第1部

- 主催者挨拶  
龍谷大学里山学研究センター センター長 牛尾 洋也 氏
- 基調講演  
「日本人の伝統的自然観と治水のあり方」  
大熊 孝 氏 (新潟大学 名誉教授)
- 「Eco-DRR (生態系を活用した防災・減災) という考え方と国内外の動向」  
西田 貴明 氏 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 副主任研究員)

第2部

- ポスターセッション (2部)  
「里山にかかわる多様な研究・取組みのポスター展示」

第3部

- 関連講演  
「減災型治水システムの社会実装とその課題」  
瀧 健太郎 氏 (滋賀県立大学環境科学部 准教授)
- 「里山開発と宅地災害—戦後日本の「遅れてきた公害」—」  
釜井 俊孝 氏 (京都大学防災研究所斜面災害研究センター センター長)
- 「奥山の自然は蝕まれている  
～ニホンジカによる荒廃は災害を誘発するのか?」  
横田 岳人 氏 (龍谷大学理工学部 准教授)

第4部

- パネルディスカッション  
「これからの防災・減災に求められること」  
Panelists  
① 大熊 孝 氏 (新潟大学 名誉教授)  
② 西田 貴明 氏 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 副主任研究員)  
③ 瀧 健太郎 氏 (滋賀県立大学環境科学部 准教授)  
④ 釜井 俊孝 氏 (京都大学防災研究所斜面災害研究センター センター長)  
⑤ 横田 岳人 氏 (龍谷大学理工学部 准教授)
- コーディネーター  
清水 万由子 氏 (龍谷大学政策学部 准教授)

- 閉会挨拶  
龍谷大学里山学研究センター 副センター長 村澤 真保呂 氏

【会場アクセス】



- ・京阪電車石場駅より徒歩5分
- ※JRでお越しの場合には、膳所駅にて京阪電車の乗り換えが可能です。
- ・JR 大津駅より京阪近江バスなぎさ公園線  
「ピアザ淡海」下車 (約8分)
- ・JR 大津駅よりタクシー (5分)

お問い合わせ 龍谷大学里山学研究センター 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67  
http://satoyama.kenkyu.ryukoku.ac.jp/  
TEL : 075-645-2154

主催：龍谷大学里山学研究センター  
後援：滋賀県

2015年度～2019年度 文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

龍谷大学里山学研究センターシンポジウム

# 里山学から考える防災・減災

琵琶湖水域圏の保全・再生に向けて